

健康登山者投稿作品
季節の絵手紙「蛍の光」
八王子市 栢谷玲子 様

高尾山が大好きな我が心が静まる我、登山歴何年になるか。我兄弟姉妹七人のうち、上の五人は女、下は男が二人。昭和十八年、上から三番目の秋子姉が高尾山にほど近い、現在の八王子市栢田町に嫁いだ。

それから終戦直後、確か昭和二十三年頃のこと、出征中の義兄の無事復員祈願の為、登山した時のことである。当時はケーブルカーも営業を休止していたかどうか定かではないが、徒歩で登った時のことだ。

それは清らかな小川のせせらぎを右手に（小さな蟹もいた）杉の木立、新緑の中、小鳥のさえずりに励まされ登ること一時間半くらいだったかな？前に姉に聞いてあった有名な蛸杉（道を作る



木の根が蛸の足のような蛸杉

蛸杉の思い出

健康登山者投稿作品

比企郡 福島和

ことになり、伐り倒されそうになったら、一晩で根元を曲がったという伝説（の根元で心地よい冷風に…ふと我に返り、辺りを見回すと、何と聳え立つ雄大な杉の上に銀色に輝くテープがいつぱいにキラキラと…

考えてみるとB29などが日本の電波探知機妨害のために播いたのだとのこと。八王子も熊谷も終戦直後に被害に遭ったのだ。

あれから七十三年、今平和の中、人それぞれ幸せに暮らしていきめるありがたさを感じ、今日この頃である。

そして今、天皇・皇后両陛下が激戦地などの慰霊に行幸啓されて心鏡誠に同感である。

高尾山 季節散歩

暦の言葉
「七十二候」
涼風至
「すずかぜいたる」
八月七日～八月十一日頃

この頃には暦の上では秋となり、夏の暑さも「残暑」と呼ばれるようになります。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、夜になると、時には涼しい風が吹いてきて、次第に秋を感じるようになります。

一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

六十七段 へつらい笑いをしない

へつらい笑いとは相手の機嫌をとるために笑うこと。続けているといつの間にか癖となり、笑っていても本心からなのか分からなくなり、物事を面白いと思えなくなります。

今日の風物詩 向日葵

原産地は北米大陸で、日本には十七世紀に伝わりました。

名前の由来は、朝には東を、夕方には西に、というように、花が太陽の動く方向に合わせて回るからだそうです。

種は油や食用に、葉と茎は肥料に利用されています。

健康登山の皆様へ 高尾山報投稿の御案内

御護摩受付所では、皆さまの「健康」に関する思いや思い出・習慣、又は「健康登山」を通じて経験した出来事などの心温まるお話を聞かせて頂いています。

そこで、皆様のお話を多くの方々にお届けできますように、御護摩受付所に「投稿箱」を設置致しまして、皆様から投稿頂いたお話や作品を、『高尾山報』に掲載させて頂いております。

その他、おもしろい体験・変わった出来事・ボエム・俳句等どんなお話でも結構です。是非お聞かせください。御協力宜しくお願い致します。

※ 投稿頂きました作品は全て掲載できるような努めますが、当山の判断で掲載しない場合もあります。また、多くの方に投稿頂きました場合、掲載までお時間を頂く場合がございます。すことを御了承下さい。

「高尾山健康登山の証」のお勧め

年間約二百八十万の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、いまでは約五万人の方々が会員となられております。

期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみください。

また、一冊に付き二十一回スタンプを押すペーシがあり、終了したことを満行と言います。満行されますとお祝い膳として、精進料理の御接待や、健康登山者限定の記念品などと交換もできます。



帳面………七百円
スタンプ…百円

神徳報謝百味飲食供 御志納のおすすめ

当山では、御本尊飯繩大権現様の日々の御加護に感謝するために、御縁日である二十一日に、沢山のお供物を捧げて、大般若経六百巻を転読し、供養申し上げる法要を執り行っております。

皆様の御志納を受け付けておりますので、ご希望の方は問い合わせ下さい。

尚、法要終了後に大本堂にて百味の御札を授与致します。

また、当日参加できない方にはお札の郵送も受け付けております。

毎月二十一日 午前九時（於大本堂）
御志納金 一口 三千元以上



大般若経を守護する十六善神の図